

ともに 頑張りましょう！！

例年であれば夏季休業に突入し、部活動の大会、研修や出張等の毎日でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、いつもとは違う「学校」になってしまいました。

組合活動については、緊急事態宣言解除後の6・7月も感染防止対策のため、中央委員会をはじめとする大人数の会議を書面開催としました。この間、各分会におかれましては、アンケートや表決書等の提出にご協力いただき、感謝申し上げます。

湘南教組としては、活動が制限される状況下においても分会との情報共有の場が減ってはいけな
いと考え、教組ニュースやメルマガで情報発信するとともに、執行委員が各分会を訪問する回数を大
幅に増やし、可能な限り資料の説明や情報共有を行ってきました。引き続き、分会の声をもとに市町
教委等に意見反映していきますので、ご意見やご質問がありましたら、ご連絡ください。

7月末をもって鎌倉市の教育長が任期満了となるため、湘南教組は、この間、学校現場・地域を知る
現場出身の教育長を求めてきました。7月15日の臨時議会において、文科省出身の岩岡寛人氏
(35歳)が教育長に就任されることが可決されました。この結果を受け、今まで以上に各分会や竹
田ゆかり鎌倉市議とも連携して、現場実態をふまえた教育施策が行われるよう、協議・交渉を強化し
ていきます。

コロナの対応や多忙解消、組織化など、課題が山積している状況だからこそ、「安心して働ける学
校」にするために、さらなる組合への結集をお願いいたします。

ともに頑張りましょう。(執行委員長 鬼塚)

悲願達成なるか！？教科書採択！！

7月末から2021年度中学校教科書の採択が始まります。湘南教組は2011年から教科書採
択問題へのとりくみを行ってきました。各分会での署名・教科書への意見陳述のとりくみに加え、「現
場の意向を尊重してほしい」ということを一貫して各市町教委に申し入れてきました。みなさんに協
力していただいた署名は約38,054筆(湘南教組6460筆)を集約しまし
た。集まった署名は藤沢とりくむ会を通して、藤沢市教育委員会へ届けまし
た。教科書採択問題の解決に向けて9年目となる今年、これまでの成果が発
揮され、先生方が使いたいと思った教科書が選ばれるよう、最後までとりく
みを続けていきます。

湘南3市1町の教科書採択日は次の通りです。



鎌倉	8月 5日(水)	9:30~	鎌倉市立御成小学校
藤沢	7月31日(金)	13:10受付	藤沢市民会館 第1展示ホール
茅ヶ崎	7月31日(金)	13:00~	茅ヶ崎市役所本庁舎4F 会議室1・2・3
寒川	7月31日(金)	13:30~	寒川町役場議会第1・2会議室

キャリア・パスポートってどういうもの！？

新学習指導要領の特別活動において、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、
学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考え
たりする活動を行う」際に、児童生徒が「活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」とされま
した。そのことを受け、2020年度から「キャリア・パスポート」のとりくみが求められていま
す。これは、小学校から高校までの子ども自身の記録をA4判各学年5枚以内に蓄積するもので

す。

神教組と県教委との協議の中で、子どもたちのキャリア形成にむけた**従前の学校現場のとりくみ**を基本に、個人の内面に注意しながらすすめていくことを確認しています。文科省が示している『キャリア・パスポート』例示資料等については「先生からのメッセージ」欄等がありますが、湘南教組は「キャリア・パスポート」が現場教職員の負担増とならないよう、各学校で工夫ができ、また子どもの内面の自由を侵すことがないよう各市町教委に意見反映してきました。

前述した、「**従前の学校現場のとりくみ**」とは、これまで「〇学期の自己目標」「行事のがんばりカード」「1年間の振り返り」等のことです。子どもたちが学期ごと・行事ごとに目標をたてて振り返りを行ったり、年度末に1年間の振り返りを行ったりしている方も多いと思います。また、それを所見の資料等に活用してきた方もいるでしょう。新しいとりくみに戸惑う方もいると思います。今後も、地域協議会、教文委員会において、保管方法等、各校と情報交換しながら課題を整理していきます。

「休日のまとめ取り」のための1年単位の变形労働時間制

7月2日に中央教育審議会初等中等教育分科会において、『給特法改正を踏まえた「休日のまとめ取り」の推進について』が協議されました。その中で、制度の概要、勤務条件等、指針に基づきサービス監督教育委員会等が講ずべき措置など具体的な内容についての議論が行われました。

制度の導入にあたっては次の5つの事項が前提条件となります。

- ①対象期間に、長期休業期間を含むこと
- ②勤務日や勤務時間の設定にあたっては、通常の正規の勤務時間に比べて短く設定する日には勤務時間を割り振らず、かつ、長期休業期間等において勤務時間が割り振られない日を連続して設定すること
- ③育児や介護等を行うものについては、これらのものが育児等に必要な時間を確保できるような配慮をすること
- ④対象となる教育職員の在校等時間に関し、指針に定める上限(42時間/月、320時間/年間)の範囲内であること
- ⑤サービス監督教育委員会及び校長は、指針に定めるすべての措置を講じること

勤務条件等については、1日の勤務時間の限度は10時間、1週間の限度は52時間、連続して勤務させる日数の限度は6日等が定められています。

この制度を活用する場合には、各地方公共団体において条例等の整備が必要となります。さらに、各学校で検討の上、市町教育委員会の意向を踏まえた都道府県教育委員会において、省令や指針等を踏まえて条例等を整備する必要があります。

湘南教組は、日教組、神教組に結集し、1年単位の变形労働時間制の導入に反対の立場でとりくむとともに、小手先の制度で超過勤務時間の削減ではなく、文科省、教育委員会による業務削減、定数改善等を求めてとりくむことが重要です。

国家・地方公務員法等の一部を改正する法律案

3月13日、政府は、公務員の定年を段階的に引き上げるための「国家公務員法等の一部を改正する法律案」および「地方公務員法の一部を改正する法律案」を閣議決定し、国会に提出しました。

法案では、現行の60歳定年を2022年度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げることとし、それにともない、役職定年制、定年前再任用短時間勤務制、情報提供・意思確認制度の導入を掲げています。今回提出された国家・地方公務員法改正案は、内閣の判断によって検察幹部の定年を延長できる特例を改正案に盛り込んだ検察庁法改正案など10本をまとめた「束ね法案」として提出されたことで、世論の批判が広がり、廃案となりましたが、秋の臨時国会に再び提出されることが見込まれます。

湘南教組は、日教組、神教組に結集し、雇用と年金との確実な接続および高齢期の働き方の観点から、とりくみを強化しつつ、定年延長の課題について協議を深めていくとともに、労働条件整備

を求めていく必要があります。

夏季休業中のサービスの確認を！

6月25日、湘南教組は休暇制度等にかかわる諸課題について、3市1町教委と交渉した結果、次の2点を確認いたしました。

1. 免許更新講習は、通信での受講でも夏季職専免対応。(計画書を管理職に提出)
2. リフレッシュ休暇、慶弔休暇(婚姻の場合)は、今年度に限り個別に相談することで休暇取得にあたって弾力的な対応を行う。

秋の確定闘争に向け、団結してがんばろう！！

7月17日、次のような記事が報道されました。

東京女子医科大学病院が新型コロナウイルス感染症による経営悪化などを理由に、職員の「夏季ボーナスゼロ」を提示し、労働組合が猛反発している。同大学病院では4月の昇給も見送られているといい、労働組合は大学側へ団体交渉の開催を申し入れてきました。

大学側は6月11日に開かれた団体交渉で、夏季賞与を「支給しない」と提示してきました。新型コロナウイルス感染症を理由に「4～5月で30億円近いマイナスとなっている。現状では上半期賞与を支給する要素は全くない」と労働組合側に回答しました。

これに対し、労働組合は6月15日、理事長宛ての要請書を提出し、4月の昇給見送りや一時帰休の導入によって、削減された人件費が28億円以上に上るという試算を示し、「(大学側が30億円近いマイナスとしている)今回の赤字分のツケを全て職員に転嫁していると言われても仕方がない」「設備投資に注ぐ財源が1000億円以上とも言われている」などとして、賞与ゼロは「到底受け入れられない」と撤回を求めました。

その後も、労働組合側は粘り強く交渉を続けたことで、7月中旬に大学は「資金調達が可能になり、原資が確保できることとなった」としてボーナス支給を検討することになりました。

このように経営者側の一方的で理不尽な提示に対し、労働組合が団結して粘り強く交渉を行うなかで引き出せた大きな成果であり、労働組合の存在意義を示したものです。

湘南教組は今後厳しい状況が予想される賃金のたたかいにおいて、県労連、神教組に結集して労働条件の改善に向けて粘り強くとりくむ必要があります。現在、各分会に「公務員連絡会2020人勸期ネット署名」のとりくみの指示をしています。国家公務員の給与に対する国の勧告に関わる重要なとりくみです。短い期間でのとりくみですが、秋の確定闘争へのとりくみの第一歩となります。各分会の積極的なとりくみをお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策にともなう 人的・物的体制強化の補正予算

国の第1次補正予算では、子どもの学習保障や心のケアが重要であるにも関わらず、人件費予算は学習指導員等の配置のみとなり、大変不満の残るものとなりました。湘南教組は、1次補正予算可決後も継続して日教組・神教組を通じ、文科省へ意見反映を行ってきました。

その結果、第2次補正予算では、学習保障に必要な人的・物的体制の強化がはかられました。人的・物的体制は次の通りです。

- ①3,100人の教員の加配
 - ②61,200人の学習指導員の追加配置
 - ③20,600人のスクール・サポート・スタッフの追加配置
- さらに、感染症対策等支援・学習保障支援の経費として、
- ④1校あたり200万～400万円程度を上限として支援

どうなる?!内閣!!

安倍内閣は、支持率低下を背景に今秋、衆議院を解散するのではないかという説が浮上している

す。安倍首相は、ことあるごと改憲の意欲を語り、最近では「自民党総裁の任期は1年3カ月ある。何とか任期中に国民投票までいきたい」と述べるなど、いまだに発議の執念を示しています。改憲勢力は、安倍首相に呼応して憲法審査会を開催し、改憲の道筋をつけようとしてきました。ところが市民と野党の共闘で、6月17日に終わった通常国会を経ても改憲案の提示はおろか、与党提出の国民投票法「改正」案の審議すらも許しませんでした。これは、憲法「改正」問題は緊急の政治課題ではないという広範な世論が、コロナ禍のもとで「なぜ今改憲を急ぐのか」「コロナに乗じた改憲などおかしい」と、一層高まったことを背景にしています。

この改憲へのとりくみだけでなく、新型コロナウイルス対応や、黒川問題、河井克行・案里夫妻の逮捕など、山積みとなっている問題や疑惑の数々が安倍政権の支持率低下につながっていると考えます。今後の安倍内閣の動向をより一層注視していく必要があります。

組織化情報 めざせ！100%加入！！

湘南3市1町では2020年度166名の教職員が新たに採用され、世代交代のすすむ湘南教組の重要課題として新採用・転任採用者の組織化にとりくんでいます。4月当初より各分会で積極的に組合加入の働きかけをすすめるとともに、地域協議会等を通して分会と執行部が連携をとる中で加入促進をはかってきました。

7月末の段階で、新採用者123人中90人(73.2%)、転任採用者43人中24人(55.8%)が加入しています。

鎌倉地域では、新採用者が100%の加入率となっています。まわりが、「みんな組合員」ということが、一番説得力があるということだと思います。あなたの隣にいる人は、組合員ですか？あなたの職場が「みんな組合員」になっていくように、まずは、あなたの身近な人から声をかけてみてください。

人間ドック受診費用補助の申請を忘れずに！

振興会ハンドブック(P.85)に人間ドック受診費用補助請求書の様式があります。申請には、領収書(コピー)を添付することになっています。



執行部のつばやき

急に「執行部のつばやき」を書いてと言われて困ってしまったので、今思っていることをつばやいてみた。

「地元に戻りたいなあ・・・でも帰っちゃだめだよなあ。」

「本当ならオリンピック開幕かあ。」

「こんなに勝てない鹿島アントラーズは見たくない。サッカーが嫌いになりそう・・・」

「いつまでこの状況が続くのかなあ。思ったような授業もできないし・・・」

「私が執行部にいるときに、なんでこんな状況になるのかなあ・・・」 などなど

気持ちが沈んでいくようなことばかり思い浮かぶ。

そういえば、5月ころだったかな、ダウンタウンの松ちゃんが「今日も自宅に居て何もしなかったなー。いえいえ。今日も自宅に居てコロナを阻止しました。」とツイートしていた。それを読んだとき、なんだか気持ちがほっこりしたのを思い出す。人ってついつい悪いほうに、マイナスに考えてしまいがちだけど、ちょっと良いほうに、プラスに考えてみよう。

「地元に戻らない。今日も自宅に居てコロナ拡散阻止します！」

「今年に賭けていた選手には申し訳ないけれど、オリンピックの楽しみは来年に。」

「今年は降格がないから、じっくりチーム作りをしてくれたら良しとしよう。」

「子ども達の笑顔を見られるだけでも幸せかな。そのためにも今やれることをやるしかないか。」

「執行部の経験だけでも貴重なのに、さらにコロナ対応。二度とないことだよなあ。」

なんだか、ちょっと気持ちが明るくなってきた気がする。先が見えず不安ばかりの毎日だけ



ど、できるだけプラス思考で明るく過ごしていきたいなあ。